

分類 C	題名	種類	時間 (分)	内容
外国人 (1)	韓国語版 ①、② ロンパールーム	VHS	各30	韓国の童謡シリーズ(1巻・2巻)
外国人 (11)	愛の黙示録	VHS	100	戦前から戦後に掛けて、現在の韓国へ養護施設運営に生涯をささげた日本人女性、田内千鶴子(ユン・ハクチャ)と孤児たちの心の交流を描いた日韓合作映画。戦乱の韓国で「チョッパリ」と迫害されながら孤児3千人を育て上げた日本人女性の民族を超えた愛の物語。児童福祉文化賞(厚生大臣賞)受賞、山路ふみ子福祉賞受賞、文部省選定、厚生省文化財特別推薦、日本映画韓国第1回上映作品
外国人 (12)	人権ってなあに5 (移住外国人篇) いっしょに歩こう -豊かな国際化社会を めざして-	VHS	45	ペルーからやってきた日系人夫婦、研修生の名目で働いているインドネシア人、オーバーステイのフィリピン人…。80年代後半からたくさんの外国人が働く場を求め日本にやってきた。しかしそこに横たわっていたのは低賃金、社会保障なしの劣悪で不安定な労働条件、そして、企業や地域社会での根深い偏見や差別。様々な人権侵害の中で外国人たちは自ら声を上げ、手を結び、日本社会の中で生きようとしている。そんな外国人をサポートする日本人、一緒になって地域社会での共生の道を探ろうと模索する人たち。「人権差別撤廃条約」が国連で採択されたのは1965年。しかし日本が批准したのはそれから30年後の1995年、そしてまだ国内における人種差別禁止法は成立していない。21世紀における日本社会の国際化の有り方が、今問われている。
外国人 (13)	記録映画 戦後在日五〇年史 「在日」前半・歴史篇	VHS	135	日本の敗戦、つまり在日にとっての解放から50年に及ぶ「在日の軌跡」を克明に描写した初めての映像記録である。
外国人 (14)	記録映画 戦後在日五〇年史 「在日」後半・人物篇	VHS	123	在日一世・二世・三世6人の生き方をドキュメントしている。
外国人 (15)	シリーズ 在日外国人 問題の原点を考える ①歴史編 ハルモニたちは踊る ～在日コリアン一世が 歩んだ道～	VHS	30	在日コリアン二世の徐玉子(ソ・オクチャ)さんは、一世のハルモニ(おばあさん)たちの介護を続ける中で、彼女たちの半生を知るようになった。家が貧しいため、11歳の時、たったひとりで朝鮮半島から日本に移り住んだ季正児(イ・ジョンア)さん、10歳で紡績工場へ働きに行かされた金小順(キム・ソスン)さんなど、過酷な少女時代を送ったハルモニたちは、苦しい時も悲しい時も歌い踊ることでたくましく生き抜いてきた。日本の植民地支配のため、意に反して日本で暮らさざるをえなくなった在日コリアンの歴史を、日本人に正しく知ってもらうことが共生への第一歩と考え、徐玉子さんはハルモニたちの人生を記録に残すことを始めた。

分類 C	題名	種類	時間 (分)	内容
外国人 (16)	シリーズ 在日外国人 問題の原点を考える ②現状編オモニの想い ～在日コリアンの戦 後、そして今～	VHS	30	兵庫県生まれの申点粉（シン・チョンブン）さんは高校生と大学生のふたりの子どものオモニ（おかあさん）。しかし日本人の母親にはない心配をいつも抱えている。それは、外国人登録証明書の常時携帯義務、公務員採用時の国籍の違いで子どもたちの将来に様々な壁が有ることだ。戦後、日本政府により、一方的に日本国籍を剥奪された在日コリアンは、長い間、国籍の違いによる差別に苦しんできた。これからは在日三世、四世の若者たちが国籍や民族の違いを理由に差別されない日本社会を願って、申点粉さんはオモニとしての想いを語る。
外国人 (17)	シリーズ 在日外国人 問題の原点を考える ③展望編出会い 在日コリアン三世と日 本の若者たち	VHS	30	鄭亜美（チョン・アミ）さんは今年、二十歳。東京の大学で学ぶ在日コリアン三世だ。そんな亜美さんが常に心を痛めていることがある。ほとんどの日本の若者が在日コリアンに関心がないことだ。在日コリアンに悪いイメージを持つ日本人もいて、差別を避けるために、本名を隠して日本名で暮らしている若者もいる。そうした中で、民族の違いを認め合い、友情を深めている在日コリアンと日本人の若者たちもいた。亜美さんと日本の若者たちはその「出会い」のなかから、お互いのルーツを見つめ合い、真に共生できる未来を模索し始めた。
外国人 (18)	在日コリアンの肖像 時代を生きる家族・7年 の足跡	VHS	45	全育愛さんは中学2年生から高校、大学、そして就職を通して、本名で生きることを自らに問うてきた。この作品では、彼女の7年間の成長を見守りながら、在日コリアンの置かれた状況と、共生への道を切り拓く「アップロ会」のメンバーの熱い情熱を描く。
外国人 (19)	第4章 風と大地と梨の木と 「WE ARE ONE」	VHS	51	シリーズ最終章。海外研修へと旅立った父信彦に梨園を任された淳は、同級生の清水としゃくな出会いをする。二人は意気投合し、淳は清水を夕食に招く。席上、清水は自分の家族についてウソを並べたてる。清水は、外国籍を有する施設で暮らす少年だった。そして数日後、再び出会った二人の心は《あの人》の許へ。
外国人 (21)	朴保（パクポー） ～歌いたい歌がある～	VHS	30	国籍や民族を超え、ありのままの等身大の自分を生きる。その生き方は新しい在日コリアンの肖像。その音楽メッセージは共生の時代への鍵。在日コリアンアーティスト朴保（パクポー）を通して普遍的な人権問題を描く、画期的な音楽人権ドキュメンタリー。
外国人 (22)	いまじん ー多民族・多文化共生 への道ー	VHS	24	①『ばだ（海）大阪多民族共生人権総合福祉センター』を通して、在日韓国・朝鮮人高齢者のおかれている状況を学ぶ ②『滋賀ラテン学園』を通して、在来外国人のことや、子どもの教育課題を知る。（日系ブラジル人がつくった学校から、日本の学校のあり方をも考える） ③『すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク（RINK）』を通して、在日外国人がどんな人権侵害や困難に直面しているかを知る ④『帰国した子どものセンター校・大阪市立阿倍野中学校』を通して、日本の学校での在日外国人の子どもの教育権保護の大切さ（特に「母語」の大切さ）を知る ⑤「多文化共生センター〈こどもの会〉』を通して、ことばの大切さ、成人がことばを学ぶ機会の必要性を知る。

分類 C	題名	種類	時間 (分)	内容
外国人 (23)	人権ってなあに3 (在日外国人篇) わいわいごちゃごちゃ —多文化・多民族共生 の街—	VHS	34	在日韓国・朝鮮人をはじめ、アジア系の人々が多く暮らす神戸市長田区。阪神淡路大震災をきっかけに「多文化・多民族のまちづくり」を合い言葉に「FMわいわい」が誕生した。ここでは若い世代が民族名を名乗ることの難しさ、定時制高校で教える在日教師の話など「在日」をめぐる様々なテーマをとりあげ、番組がつけられている。 神奈川県川崎市。ここでも民族差別と闘い、国籍による制限を撤廃する取り組みが重ねられ、人権確立に向けた街づくりが行われてきた。 この作品では、長田区と川崎市を舞台に在日韓国・朝鮮人の取り組みと、共に活動する日本人の姿を紹介。「在日」の歴史も織りませ、「わいわいごちゃごちゃ」—街に暮らす様々な民族の人たちが共に生きていくことの大切さを探ります。
外国人 (24) 1-2	「知らない二人」 ～多文化共生を映像作 りから考える～	DVD	20	公民館講座に集まった市民が「言葉の壁を越えるには？」をテーマに、シナリオから撮影・編集、そして出演まで取り組んだ映画です。ロケ地は寺内町をはじめ、魅力たっぷりの富田林！違う言葉、違う文化を持つ二人の偶然の出会い。姉の急な出産さえなければ、かかわることはなかったのに…。
外国人 (25)	企業と人権 外国人労働者問題から 多民族共生を考える (字幕入)	VHS	32	企業が果たすべき社会的責任、それは「人権」「労働基準」「環境」
外国人 (26)	新屋英子 ひとり芝居 身世打鈴 ～在日オモニの身の上 話～ 上演2000回記念公演	VHS	101	合唱「トラジ」、舞踊「チャンゴの舞」、舞踊「拍方舞」、独唱「イムジンガン」、舞踊「山河の歌」、独舞「アリラン」、ひとり芝居「身世打鈴」 沖縄から北海道まで 北京から韓国まで 在日オモニ達や日本人 同じ思いの熱い心に支えられ 演じ続けた32年 二千回
外国人 (27) 1-2	外国人と人権 ～違いを認め、共に生 きる～	DVD	33	外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるかを考えるものです。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのかを学びます。